EMBAJADA DE ESPAÑA EN JAPÓN　aecid　Cooperación Española　ESPAÑA CULTURA VIVA

「ギターの女王」

マリア・エステル・グスマンを迎えて

スペシャルコンサート

～仲間たちとともに～

ギターアンサンブル“カンパニージャ”　with　マリア・エステル・グスマン

カナリオス（G.サンス）
別れの曲（F.ショパン）
アメリカ（A.ドヴォルザーク）
トリオ・ソナタ RV85（A.ヴィヴァルディ）

マリア・エステル・グスマン＋手塚 健旨＋高木 洋子

ガリシアン・キャロル（民謡）
祭り（井上 勝仁）

マリア・エステル・グスマン　ギターソロ

セビージャ／レイエンダ（I.アルベニス）
スペイン舞曲第5番（E.グラナドス）
アルハンブラの想い出（F.ターレガ）
リベルタンゴ（A.ピアソラ）他

＊演奏者の都合によりプログラムに変更がある場合がございますが予めご了承ください。

2026.10.16（金）

18:30開演（18:00開場）

会場：大田区民プラザ　小ホール

東急多摩川線「下丸子」駅前

共演：手塚 健旨（G）　高木 洋子（P）
ギターアンサンブル“カンパニージャ”

入場前売券：4,000円
（自由席／当日4,500円）

主催：カンパニージャ
後援：駐日スペイン大使館／株式会社現代ギター社
プリマベーラ／Guitarras Alhambra

お問合せ先：☎ 090-5505-8757
campanillaguitarra@gmail.com

Campanilla Guitarra　Musica Primavera　Alhambra guitarras

チケットぴあ https://t.pia.jp　イープラス https://eplus.jp/　カンフェティ www.confetti-web.com

ご予約フォーム

「ギターの女王」マリア・エステル・グスマンを迎えて
スペシャルコンサート ～仲間たちとともに～

マリア・エステルがやってくる

「十で神童、十五で才子、二十歳過ぎれば只（ただ）の人」と言われたギタリストは数多くいます。
そうした中、マリア・エステルは「十で神童、十五で才子、二十を過ぎて雲の上の人」と称えられる
稀なるギタリストです。完璧なテクニック、色彩豊かな音色。的確な音楽表現。
天はマリア・エステルにだけ、特別な才能を与えたのです。
今年も新しいレパートリーを手に、またマリア・エステルがやってくる。

■ マリア・エステル・グスマン
María Esther Guzmán（ギター）
www.mariaestherguzman.net

マリア・エステル・グスマンは母方が代々ゲルボスという姓をもつ名門音楽家の流れをくみ、彼女はその8代目にあたる。この名家を引き継ぐマリア・エステルは、4歳で同地のロペ・デ・ベガ劇場でデビュー、11歳でスペイン国営放送局主催の音楽コンクールで優勝し、12歳の時に巨匠アンドレス・セゴビアにその演奏を讃えられた。
「アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール」他、国内外での国際コンクールでの優勝・入賞多数。その後も活発な演奏活動を続け、ヨーロッパ、アジア、アメリカの主要なホールにて演奏、また各地の著名オーケストラとも共演している。1994年アンダルシア音楽賞、また、“フリアン・アルカス”のCDで音楽誌「リズム」より特別音楽賞を受賞。1998年にはセビーリャ音楽協会より、音楽家生活25周年（銀婚式）を表彰された。現在、演奏活動の傍ら、サン・フランシスコ・デ・パラウ音楽院にて教鞭をとり、海外でも多くのマスタークラスを行っている。2002年にセビーリャのサンタ・イサベル・デ・フングリア王立アカデミーの会員に任命。最近では、バレンシア音楽堂にて芸術文化功労賞を受賞し、2012年末にはリナーレス市のアンドレス・セゴビア財団より、アンドレス・セゴビア賞のメダルを授与されている。「ギターの女王」と称えられ、スペインに留まらず海外でも広く活躍している。日本には1988年から毎年のように訪れており多くのファンがいる。数多くのCDに加え、4本のビデオ、DVD「レイエンダ～伝説～」などもある。
近年では来日時に、優れた録音で知られる「マイスターミュージック」レーベルによるレコーディングも行い、「アンダルーサ」「大聖堂」「ポンセ作品集」などリリースし、今年も昨年の来日時にレコーディングしたCD「親しき友人たち」が発売された。

■ 手塚健旨（ギター） https://tezuka-guitar.com/

札幌市出身。5年間スペインに留学。レヒーノ・サインス・デ・ラ・マーサ、ナルシソ・イエペス、ホセ・ルイス・ゴンサレスの各氏に師事。帰国後、コンサート及びギター教授活動を続ける傍ら音楽雑誌への執筆、CD解説も行う。現在は国内はもとより、ヨーロッパ各国、トルコ、南米などで多くのコンサートをもち、各国の主要国際ギターコンクールの審査員も務めている。2013年11月、リナーレス市のアンドレス・セゴビア財団より、アンドレス・セゴビア賞のメダルを授与。2022年セゴビア博物館に『テヅカタケシ音楽サロン』が設けられる。

■ 高木洋子（ピアノ） www.yoko-takaki.com

横浜市出身。幼少時4年間ブラジルのサンパウロで過ごし、北鎌倉女子学園高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、スペイン、南米音楽作品を中心に演奏活動を展開。国内、スペイン各地をはじめ、ヨーロッパ各地、南米のチリ、ボリビア、アルゼンチン、トルコ、アジアなどで開催された国際音楽フェスティバルに招かれ出演。数多くのコンサート、地元TVやラジオに出演するほか、マスタークラス、コンクールの審査員も務めている。CDや編曲楽譜出版のほか、著書「スペインの風景～音楽で彩る旅行ガイド～」を（株）ヤマハミュージックメディアより発売。
日本スペインピアノ音楽学会副会長。

■ カンパニージャ（ギターアンサンブル）

1st：手塚 健旨／池田 朝喜／杉本 みどり／佐々木 巌
2nd：湯川 賀正／唐木 順子／田代 由起子／永井 宏／飯島 こすも
　　宮崎 昭二／川田 隆夫
3rd：児玉 祐子／斎藤 潔／荒井 啓治／橋本 恵美子
　　錦織 亜希子／佐々木 みこと
Bass：丸山 耕太郎

1984年手塚健旨の生徒たちにより結成されたギターアンサンブル。日本各地で数多くのコンサートを行っており、2年おきのスペイン、ドイツ、アルゼンチンなど海外での公演も恒例となっている。2010年11月にはイタリアのアドリア海国際ギターコンクール、2015年11月にはスペインリナーレス市のアンドレス・セゴビア国際ギターコンクールのアンサンブル部門にて優勝。

会場のご案内

大田区民プラザ　小ホール

交通アクセス
- 東急多摩川線「下丸子駅」下車約1分
- 東急池上線「千鳥町駅」下車徒歩約7分
- 一般の方の駐車場はありません

～ 他公演案内 ～

～プラドの光、セビリアの春～
マリア・エステル・グスマン（G）＆高木洋子（P）
スペシャルサロンコンサート
賛助出演：手塚健旨（G）
2026.10.10（土）15:00開演（14:45開場）
会場：音楽サロンAria　限定 40席
世界初演（World Premiere）牟岐礼 作品（編曲委嘱）
＊「PRADO」「セビリアの春」NHKスペシャルテーマ曲
入場料：5,000円　申込先：プリマベーラ HP 予約より
https://primaverajapan.jp/

～New CD「親しき友人たち」発売記念
マリア・エステル・グスマン
ギターソロリサイタル

2026.10.12（月・祝）14:30開演（14:00開場）
会場：横浜市緑区民文化センター
　　みどりアートパークホール
入場料：4,000円　申込先：カンパニージャ